

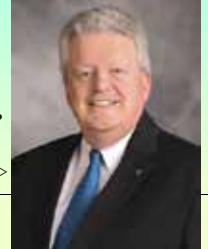


事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：唐澤千明 副会長：池田幸平 幹事：市川修次 公共イメージ向上委員長：杉本徳治



2019-2020 国際ロータリーのテーマ
 ロータリーは世界をつなぐ
 Rotary Connects The World

2019-2020 RI会長
 マーク・ダニエル・マローニー
 <アラバマ州 (米国) >



第1525回例会 令和2年2月4日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 君が代・奉仕の理想・四つのテスト 原一馬ソングリーダー

■ ゲスト・ビジター紹介 ・米山奨学生 金根 様

■ 会長談話 唐澤千明会長



2月に入っても依然として猛威を振っている新型肺炎です。1月30日に世界保健機関（WHO）が緊急事態宣言を出しましたが、これは本来、緊急事態が起きてからではなく、放っておくと起きうる状況になった時に出すものだとし、もう少し早く宣言してもよかったのではないかとしています。

2月2日（午後4時現在）には、中国国内において感染者が14,380人に死者が304人になったと発表、日本国内でも感染者が20人となり歯止めが掛かりません。日本では湖北省に滞在していた外国人の入国を拒否すると表明しました。

国外では初めてフィリピンで中国人が新型肺炎で死亡したと発表がありました。米国は中国全土に渡航中止・退避を勧告、中国政府は海外滞在の武漢市民を連れ戻す方針を表明しました。改めて新型肺炎の早期終息を希望します。

英国が1月31日午後11時(日本時間2月1日午前8時)に欧州連合(EU)から離脱しました。2016年6月の国民投票から約3年半続いた混迷に、ようやく終止符が打たれました。2度の世界大戦への反省から生まれたEUは拡大と深化を重ねてきたが、初めて加盟国を失う歴史的な節目を迎え、欧州は新時代に入ったとしています。

英国は1973年にEUの前身、欧州共同体（EC）に加盟してから約半世紀を経て、独立独歩で進むこととなります。離脱に伴う経済や社会の激変緩和のため、年末までの移行期間がスタートし、今後は英国・EUの貿易協定に向けた交渉の行方が焦点となるが、双方の意見は大きく対立、難航は必至だとしています。移行期間は最長2年まで延長可能だが、ジョンソン首相は年末までの完全離脱を目指しており、11か月で交渉が妥結できるかどうか注目されています。

EU加盟国は27になりますが、英国はEUでドイツに次ぐ経済大国です。英国の離脱でEUの規模は、人口が5億1,000万人から4億4,000万人（約14%減）に、GDPは18兆7,000億ドルから15兆9,000億ドル（約15%減）に、軍事費は2,782億5,000万ドルから2,282億5,000万ドル（約18%減）に縮小します。

英国離脱に至った経緯には、サッチャー元首相が欧州政治統合への反対を貫いた姿勢、単一通貨ユーロ導入時にドイツ・マルクやフランス・フランなど各国が自国通貨を手放して統合を深めた一方、英国はポンドを維持し、欧州国内を国境検査なしで移動できる協定にも加わらなかったとしています。また、移民急増も「反EU感情」を強めたようです。

英国の民意が真っ二つに割れている中、経済や社会生活に大きな混乱をもたらすことの無いよう進めていって欲しいと思います。



■ 委嘱状伝達式 国際ロータリー第2600地区2020-2021年度地区委員会委員委嘱状の伝達



- ・公共イメージ向上委員会 委員・・・伊澤和男会員
- ・インターアクト委員会 委員・・・井上修会員
- ・ロータリー財団委員会
財団資金管理会計小委員会 委員・・・熊谷健会員
- ・ロータリー財団委員会
資金推進小委員会 委員・・・中川博夫会員

■ 慶 祝 2月誕生日祝い ・田中洋会員 ・平澤理会員
・角田泰隆会員 ・原一馬会員
・宮原英幸会員



■ ニコニコボックス

- ◆唐澤千明 暖冬が続きますが一月の長野県の平均気温が軒並み3℃以上高いですが、伊那市は4℃以上高くなりびっくりしました。農作物に影響が出そうです。
- ◆市川修次 暖冬が続いてありがたいのですが、昨日、蓼科に行きましたら雪が全く無くて、夏はどうなるのかと思いました。
金根さん、ご来訪ありがとうございます。
- ◆清水吉治 フルートの発表会が近づいてきました。来週の16日です。是非、清水より前売券を入手の上お出かけください。現在、猛練習中です。
- ◆市川満貞 2月1日から12年ぶりにタクシー料金が上がりました。申し訳ございません。本来なら去年の消費税改定と一緒にやりたかったのですが、2回にバラけてしまいました。このためにメーターを2回改修することになり、200万円もかかってしまいました。しかし今回の値上げの大半は乗務員の待遇の改善に使われますので何卒ご理解ください。
- ◆井上修 今週土曜日に長谷の中尾歌舞伎の特別公演があります。普段は4月の定期公演のみですが、特別開催して頂けます。理由は私の人生の師である上甲晃という方が主催している青年塾という勉強会があり、その伊那講座が2泊3日で開かれ、講座の一環として是非にとお願いし実現しました。尚、青年塾は「坂の上の雲」を必読書としており、元NHKプロデューサーの西村さんの「映像化秘話」の講演もあります。普段から尊敬してやまない、伊那中央ロータリークラブの方々は私が自費で招待させていただきます。ご家族どうぞ！

■ 幹事報告 市川修次幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・1月28日（火）上伊那グループ会長・幹事会の報告 市川修次幹事



1月28日（火）駒ヶ根グリーンホテルにおいて上伊那グループ「会長・幹事会」が久保田ガバナー補佐他5クラブ会長幹事等12名が出席して開催されました。久保田ガバナー補佐の挨拶に始まり、各クラブ会長から「上期事業の進捗状況と下期事業への取組みについて」の報告がありました。

久保田ガバナー補佐からは、特に会員増強について目標を達成する為に6日に「上・下伊那グループ合同の会員増強委員会」が開催される話がありました。当クラブでは目標2名入会を目指していますが現在1名の増となっております。

又、3月1日に行われる「上伊那グループIM」の内容説明が駒ヶ根クラブ増沢会長より説明があり、入会5年以内の会員を対象に伊藤雅基直前ガバナーより「ロータリアンと健康」と題して基本を判りやすく講義していただける会員セミナーと、イグノーベル賞受賞の昭和伊南総合病院消化器病センター長堀内朗先生より「イグノーベルと大腸がん」と題しての記念講演を予定している等の話があり、多くの会員の出席をとの要請がありました。

5月には第3回の「会長・幹事会」を予定しています。

・次年度地区補助金事業の内容について

原一馬次年度ロータリー財団委員長



先月1月21日全員協議会では、来年度の地区補助金事業、植樹等による「ますみが丘平地林」の整備事業について案内させていただきました。今年度に引き続きの地区補助金事業は、先週の理事会で承認され決定いたしました。

伊那市議会では新人議員の勉強会（発起人：宮原議員）を開催していますが、昨日は伊那市の森林への取り組みについての内容でした。昭和50年代前半、日本の材木は不足して全国各地で植林が進められましたが、その後輸入木材が席卷、植林した森林は整備が滞っていましたが、現在、伐期となっています。国では平成31年から森林環境譲与税が導入され、長野県では平成20年から森林税が導入されて、森林整備が進められています。

以下、今年度の事業の起案（中川ロータリー財団委員長）

「市民の森」整備に協力することで、市民にも後世に残さねばならない里山だと再認識していただくとともに、身近な自然を体験できる機会にしようと考えています。

上伊那には人間の影響を受けた生態系が存在する平地林が点在しています。ますみが丘平地林もその一つです。人の暮らしと密接した場所であり、多様な生態系が存在しています。この財産を後世に残すためには、乱開発を防止し、健全な森林として後世に残さなければなりません。そこで、平成9年、伊那市が地権者約280人をお願いして土地の取得や賃貸借契約をして、伊那市が管理する森林整備に努めています。以降、市民が里山を楽しむ場所となるよう、鳩吹公園、林内遊歩道、クロスカントリーコースの整備などをしてしていますが、68haと広大ですので、市だけでは維持管理が難しいのが実情です。ただ我々だけで植林や間伐、下草狩りをしたら良いとは思っていません。伊那市には森林整備の団体が多々ありますので、他団体との協働により一般市民をも巻き込めたらと思っています。（以上）

みなさんのご協力により来年度の地区補助金事業を進めて参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

・「財団室ニュース」2月号の内容紹介

中川博夫ロータリー財団委員長



【1/7】国際協議会より

クナーク会長エレクトは、次期地区ガバナーに向けて2020-21年度会長テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」を発表。「ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく、無限の機会への招待である」。「奉仕の行いは、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機会を生み出すものであると、私たちは信じている。私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています」とクナーク氏は述べました。

【4/7】ロータリー平和センターより

2月は平和と紛争予防／紛争解決月間です。財団の大きな柱の一つである「ロータリー平和センター」のことが書かれています。「ロータリーの友2月号」にも載っていますのでお読みください。

平和は、ロータリーが力を入れている課題でもあります。これまでに、世界平和フォーラム／シンポジウムの開催や、60年にわたる国連との協力を通じて、平和を築き、寛容の精神を育てる活動が行われてきました。また、平和のためのロータリアン行動グループも精力的に活動しています。

そうした平和活動の中でも、近年大きな役割を果たしているのがロータリー平和センターです。2002年のプログラム開始以来、草の根の活動から国家間協力にいたる、さまざまな分野の平和専門家が育っています。修士号取得プログラム（2年間）と修了証取得プログラム（3カ月間）があり、平和センターの学生は「平和フェロー」と呼ばれます。

・「ロータリーの友」2月号紹介

唐澤稔ロータリー情報委員



横書き3ページに、RI会長マーク・ダニエル・マローニー氏のメッセージがあります。「ロータリアンならびにロータリー家族の皆さま、115周年おめでとうございます。」世界は大きく変わっています。当時の人口は17億。現在は77億です。一番分かりやすい電話の台数でアメリカでは、当時100人で5台。2020年にはアメリカ人の96%が携帯電話を持っていると言われています。115年経ってあらゆる

事が変化してきたように思われますが、ロータリーの理念は変わることがありません。私たちロータリーは、親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップを保ち続けます。「超我の奉仕」という公式標語。その理念はすでにロータリー創始者たちが打ち出していたものです。

2011年3月に福島を襲った地震・津波・原発事故という大惨事は、世界でも類を見ません。しかし今日の福島で見られるのは、悲劇の物語ではなく、希望と再生の物語です。ロータリーの補助金により、被災者は医療と精神医療ケアが受けやすくなり、震災を乗り越えた他国の人々の体験を分かち合うことで孤独が癒されます。また、補助金は地域全体にわたって自発的な取り組みと持続可能な長期的地域復興を促しています。

日本だけではなく、世界中のあらゆる地域で、人々の暮らしを向上させ、地域が変化のスピードに適応する手助けをしています。ロータリーの奉仕がこれほどの成果を上げている理由である「つながり」を深めることに、再び全力を傾けようではありませんか。ロータリーは世界をつなぎながら、人々の暮らしを向上させていくのです。

7～15ページは、全国の島のロータリークラブを訪ねてみませんか？との特集記事です。それぞれの島のグルメも載っています。

16ページは、ローマ教皇が38年ぶりに来日し長崎を訪れた記事です。鎮西学院高校インターアクターの内山君は、6月にローマ教皇に会うためにバチカンを訪れ、教皇に被爆地訪問をお願いした高校生の一人でした。内山君は、核兵器廃絶と平和な世界の実現を目指す「高校生1万人署名運動」に参加しています。参加したきっかけは、鎮西学院が被爆校であるということを知り、このような核兵器による被害を繰り返してはいけないと思ったからだそうです。

縦書き19ページ「豚コレラって何？」 今世界中でコロナウイルスで多くの感染者が出ています。岐阜県の養豚場で豚やイノシシの熱性伝染病が確認されました。高い致死率を持つ病気で治療法はなく、ひとたび発生すると殺処分しなければならない。長野県も一時期問題になって豚へのワクチン接種を行った。人間に感染することはないそうです。

23ページのロータリーアットワークでは「森林と水を守る」と題して、ブナやミズナラ、イタヤカエデなどの落葉樹を植樹していると言う山形北RCの記事が載っています。その他いろいろな支援活動が掲載されていますので見て頂きたいと思います。

■ 出席報告 会員数48名 出席免除会員5名 長欠会員2名 本日出席者26名 事前メイク3名
出席率70.73% 前回出席率 修正なし

■ クラブ協議会報告 市川修次会員
各委員会の「上半期を振り返って」を配布します。お目通しください。

■ 理事会報告 市川修次幹事

1. 伊那中央ロータリークラブ細則の変更について
2. 次年度地区補助金事業の内容について
3. 「第44回長野県手話で結ぶ友の集い」後援依頼について
4. 2月の行事予定とメイクアップ扱いについて
5. その他

■ 点 鐘 13:30

次回例会
2月18日(火) 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店
・クラブフォーラム「国際奉仕委員会」支援留学生ニユンさん卓話